

## 事業評価シート

事務事業名	スクールバス運行事業	担当課名	教育施設課
総合計画の主要施策名	小・中学校の環境整備の推進	事業コード	4257

事業の目的	児童生徒の遠距離通学対策と校外活動事業の円滑な運営を図ること			
事業の内容	千屋小学校・千畑南小学校・六郷小学校・千畑中学校の児童生徒を対象に登下校のバスを運行する。また、各小中学校の校外活動に対しバスを運行する。23年度は24年度からの統合美郷中学校遠距離通学対策のため、3台の中型バスを新規購入した。			
事業の対象	遠距離通学:千屋小学校・千畑南小学校・六郷小学校・千畑中学校児童生徒 校外学習:全児童生徒			
事業費	年度・区分	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算
	金額	16,271 千円	62,640 千円	134,067 千円

事業の効果等	児童生徒の遠距離通学に効果があったほか、学校の校外活動も円滑に行われた。25年度には小学校の統合が予定されており、車両の購入や運行計画の見直しがせまられている。
実績・成果等(数値)	中学校用新規バス3台購入 既存バス5台の運行管理を実施した。

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
判定説明及び考察	登下校については千畑地区及び六郷地区が運行しており、安全安心な通学を維持できている。 統合中学校については、車両を購入し運行計画を策定した。今後千畑・仙南地区統合小学校の登下校運行計画を策定する必要がある。 校外活動の利用基準を明確にし、バスの有効利用を図る。			
事業の方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	統合後の中学校のバス運行について、保護者・教諭の意見もいろいろ出ているので、現況を把握してより適正な運行を求める。さらに小学校のほうも安全面を第一に検討願う。
------	---	--------	---